

こまえ



公民館 だより

第43号
2017
(平成29年)
3/31

発行 狛江市公民館
<http://www.komae.ed.jp/>



↑Web版はこちら

西河原公民館

〒201-0013 狛江市元和泉 2-35-1
TEL / 03-3480-3201
FAX / 03-3480-3203
E-mail nishikou@city.komae.lg.jp

中央公民館

〒201-0003 狛江市和泉本町 1-1-5
TEL / 03-3488-4411
FAX / 03-3480-3341
E-mail chukou@city.komae.lg.jp

日本語教室

【4月～3月土曜夜間/36回開催】
(参加延べ人数/生徒:1,025人・指導者:559人)

一人でも多くの外国人の方々が、楽しく充実した生活が送れるよう、ボランティアがサポートしています。幼児室活動、交流会(館外学習)も行いました。

28年度も

地域に根ざした 講座を開催して きました。

新年度の募集を
P4に掲載して
います。

チャレンジ青年学級

【4月～3月日曜午前/19回開催】
(参加延べ人数/学級生:224人・スタッフ:76人)



障がいのある青年たちが、学習・文化・コミュニケーション活動の中で仲間づくりをしています。スポーツ活動・バンド活動・クラフト制作に取り組みました。夏のキャンプは山梨県小菅村平山キャンプ場、スキーは白馬乗鞍温泉へ行きました。

野外サークル

【5月～3月日曜 日中/13回開催
(内1回が1泊2日のキャンプ)】
(参加延べ人数/子ども:98人)

野外活動を通じて、自主性・協調性を身に付け、学年を超えた仲間づくりを進めています。今年度のメンバーは小学生10人中学生5人。キャンプは秋川溪谷へ行きました。

子どもの広場

【5月～3月水曜午後/17回開催】
(参加延べ人数/子ども344人)

仲間づくりの楽しさを体験できるように計画しています。簡単な工作や料理などに取り組みました。ハロウィンの工作が一番盛り上がりります。



女性セミナー

【6月～10月水曜午前/12回開催】(参加延べ人数/141人)



講座終了後、「ラディツシユママ」というグループが誕生しました。みんな楽しく、いきいき活動しています。

いきいき子育てルーム

【4月～3月金曜午前/48回開催】
(参加延べ人数/子ども:955人・保護者:911人)

乳幼児とその保護者にゆったりとした交流の場をつくり、情報交換や子育ての悩みについてのアドバイスなど、ひとときの居場所づくりをしています。



いべんと西河原

2月25日・26日
3月4日・5日開催

来場者数：約 10,500 人

参加団体数：77 団体 + 2 団体【日本語教室・チャレンジ青年学級】（展示：33 団体・ホール発表：47 団体）



折り紙やりサイクルの本などのサービスがすごく、POP☆CORN（キッズダンス）がとてもよく、楽しかった。



皆様の日頃の練習のたまものだと思ってすばらしい踊りを楽しませて頂きました。またの機会を楽しみにしております。



太鼓がよかった。

多くの内容の活動にびっくりしました。参加も考えたいと思います。



舞台が面白い展開だった。



フラダンス&バンドの方々が、大人と子供さんがいて、とてもさわやかでよかったです。



たくさんの人の前で点前をして緊張したけど、よい経験になった。



どれも心がこもっていて、食・住・生活用品・雑貨等楽しい催しです。包丁砥ぎ、ハーブのお菓子等も楽しみ。時期もよいです。



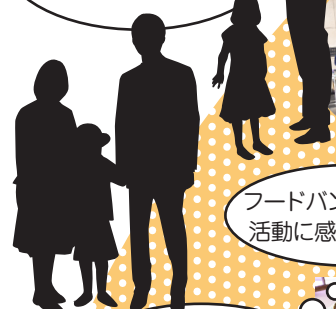
バザーが安くてほしいものがいっぱいあってよかったです。



いろんな人に逢えて、話しができ、とても楽しかった。



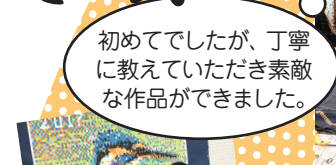
公民館の活動を通じて横のつながりができ、みなさん生き生きと活動してすばらしいと思いました。



フードバンクの立派な活動に感動しました。



4歳と8歳の子供と一緒にでしたが、丁寧に折り紙を教えてくださいましてうれしかったです。



初めてでしたが、丁寧に教えていただき素敵な作品ができました。



中央公民館のつどい

3月8日～12日開催

来場者数：約 6,700 人

参加団体数：97 団体 + 5 団体【野外サークル・子どもの広場・青年教室・図書館・講演会】
展示・公開活動団体：87 団体 ホール発表：15 団体



3B体操なでしこ

体操でいつまでも健康に

代表 ◆ 佐藤 真貴子さん

—どんな活動をしているのですか。

健康維持を目的に、音楽に合わせてストレッチ、準備体操などを行っています。たまに脳の活性化のために遊びも取り入れています。

—お仲間は何人いらっしゃいますか。

70歳代と80歳代の女性8人です。毎週月曜日の2時から中央公民館の地下ホールが会場です。靴、タオル、飲み物などを持参してお出でいただければ一緒に体験できます。

—今年の目標はなんですか。

都内で年に1回開かれる3B体操大会に参加することです。

—公民館への注文はありますか。

ホールの利用率が高くて困っています。第4会議室、講座室でもできるのですが、高齢者の集いので机を出したり片付けたりが大変で。

さくら会

ぼけ予防にもなりますよ

代表 ◆ 加々美 シゲ子さん

—どんな活動をしているのですか。

60～80歳代の女性20人のグループで、体を無理なく動かすよう、準備運動とフォークダンスなどを行っています。

—会場はどちらですか。

毎週木曜日の9時から11時半まで西河原公民館の多目的ホールでやっています。第4木曜日は9時から10時半までです。

—お仲間に入れていただくのはどうしたらいいのですか。

会場にいらしていただければ、ご案内します。ご一緒しませんか。

—今年の目標はなんですか。

運動はもとより、グループ活動で人と人の接触を大切に、少しでもぼけ予防になればと念じております。

第32回公民館のつどい学習会／成人学習事業
「相互教育こそが公民館の社会教育」

講師 大串 隆吉さん（都立大学・首都大学東京名誉教授）

今年には社会教育学者の大串隆吉さんに「公民館が教育機関であること」をテーマに話していただきました。大串さんは座間市社会教育委員、昭島市と国立市の公民館運営審議会委員であり、地域の活動にも詳しい方です。

先ず公民館とは、から講演が始まりました。公民館は敗戦後、いわば町村民の民主主義的な訓練の場、社会教育施設として作られました。1974年に出された東京都の「新しい公民館像をめざして」では公民館の四つの役割や七つの原則が挙げられています。

後半は、社会教育とは何かという内容でした。「社会教育」とは成人のみを対象とするのではなく、学校の教育課程としての教育活動を除き、主として青少年および成人に対して行われる組織的な教育活動をさすこと、「社会」とは相互に働きかけを持った人間集合体であり、その人間関係が崩壊すると、新しい人間関係の取り結ぶ方を学ばねばならない時代になったことを、認知症、引きこもりなどの例を挙げて話されました。

興味深かったのは社会教育の基本は「相互教育」であるという新しい考え方でした。これまで教育は偉い人が未熟な人に教えるものと考えられて来ました。



論語の「学びて時にこれを習う、また説ばしからずや」です。続く「朋あり遠方より

来る、また楽しからずや」が相互教育を表しているのだそうです。教師あるいは大人も、子どもから学ぶ、学習する、教師と子どもの間にも相互教育があるのです。

子ども同士、大人同士も学んでいます。図書館は自己教育の場ですが、公民館には教育として講座があり、相互教育の場としてのサークル、サロン、団体居場所、たまり場、懇談会、相談、助言、子ども会などがあります。公民館こそが相互教育をすすめていける場所なのだと感じました。

参加者の感想でも相互教育についての共感が多く寄せられました。

（参加者の感想）

- ・長年学習会活動などで利用して来た。学習と社会教育について矛盾を感じていたが基本に戻って考える機会になった。自分で習得するのに留まらない公民館での活動について考えて行きたい。
- ・社会教育から生涯学習に重点が置かれるようになって来た。学びあう、教えあう、相互教育が豊かに行われることを望んでいる。公民館はこう進めるといいことを、私たちがも責任を持って考えて行かなければならない。



こまえ市民大学



各回とも土曜日の午後2時から、中央公民館で開催。
詳細は「広報こまえ」や市内の掲示板、HPでお知らせします。

4月15日 (土)	飢餓のない世界を目指して 国連世界食糧計画日本事務所広報官 保田由布子さん
5月20日 (土)	あなたならどうする 老人ホームの選び方 獨協大学名誉教授 ロイヤルハウス石岡園長 大久保貞義さん
6月3日 (土)	トランプ政権の対日政策と日本 日本経済研究センター首席研究員 伊集院敦さん

公民館40周年事業へ ご協力をお願いします!

公民館資料保存のため、お持ちの公民館や公民館活動に関係する写真をお貸しください。古いものから新しいものまでぜひお願いします。

公民館40周年実行委員会より

【問い合わせ】中央公民館



公民館利用者懇談会が 開催されます

公民館からのお知らせ、利用者同士の交流、公民館の利用に関する要望・意見交換の場として、各公民館で毎年実施しています。

西河原公民館 4月27日(木)午前10時～ / 午後7時～
中央公民館 4月28日(金)午前10時～ / 午後7時～

募集!詳細は「広報こまえ」やHPでお知らせします。

子どもの広場

【期間】5月から平成30年3月までの年間13回程度。水曜日に活動します。

【対象】小学校2・3年生

【定員】15人

【参加費】教材費5千円

工作・料理・レクリエーション等を通して学校・学年の枠を超えた仲間づくりを1年間かけて実施します。

野外サークル

【期間】4月23日から平成30年3月までの土・日曜日(原則月1回の活動で、年間13回程度)

【対象】市内在住の小学校4年生以上

【定員】20人

【参加費】教材費5千円

キャンピングの実技指導とハイキング等

中高生も参加できます!

チャレンジ学級

【活動日】原則として毎月

第1・3日曜日の午前10時～午後4時

【会場】主に西河原公民館

(和泉小体育館で軽スポーツ活動あり)

【対象】市内在住・在勤の義務教育修了の障がいのある青年男女。通級可能で団体活動のできる方。

軽スポーツ・音楽(ガチャガチャバンド)・クラフト。夏はキャンプ、冬はクリスマス会・スキー等の季節の行事や、市民まつり・ボランティアのつどい・いべんと西河原へのガチャガチャバンドでの出演もあります。見学もお気軽にお越しください。

日本語教室

【期間】4月から平成30年3月までの毎週土曜日午後7時～9時20分

【対象】外国から泊江に来ている方

※ボランティア・幼児担当スタッフ募集:指導経験や資格の有無は問いません。問い合わせは西河原公民館へ。

言葉の問題で日常生活に困っている方々のために、日本語学習を通して、日本と外国の互いの文化・風習・生活技術を学びあいます。

公運審だよ!

【定例会】

第6回(3月6日)

・諮問「泊江市立公民館の魅力を高め、すべての世代にわたる市民のための学習の場とするために必要な公民館事業等のあり方について」に対する答申の検討。

今回の答申では、若い人や現役社会人にとって魅力ある公民館のあり方について検討しました。これらの世代へのアンケートから、公民館についてわからない、興味・関心にそぐわないという回答が多く、考えさせられました。公民館側でこれまでの蓄積から行う事業の他に、その時々々の社会的な関心事を反映することも大切です。また、そうした事業を市民と協働で、とりわけ若い人たちが創っていくことが必要です。さらに、利用時間を工夫することや将来的にはコミュニティスペースとしての機能を持たせることも必要だと考えました。

公運審の答申は平成28年度中に提出し、教育委員会への報告を経て公民館の運営に活かされます。市民の皆さんにも公民館での閲覧やホームページでご覧いただけるようにします。

今期の公運審委員は、2年の任期を終え、改選となります。また、前期から学識経験委員として参加くださった伊東静一委員が退任されます。伊東委員には、公民館の基本的なことから法的裏付け、各地の状況など豊富な知識で議論を支えていただきました。ありがとうございました。